

取締役会の実効性の分析・評価結果の概要

1. 取締役会の実効性に関するアンケートの概要(集計、分析、評価の方法)

当社取締役会は、取締役会の実効性を分析・評価するために、自己評価として取締役会の全メンバー(取締役7名及び監査役5名)に対するアンケートを実施し、当社取締役会の実効性の分析・評価を行いました。

【実施時期】2021年1月～2月まで

【回答者】取締役及び監査役全員(計12名、うち社外役員6名)

【内容】

方式：無記名式によるアンケート方式

設問項目：取締役会の構成・取締役会の運営、取締役・監査役に対する支援体制、トレーニング、株主(投資家)との対話、ご自身の取り組み、報酬委員会

回答・集計：弊社社長室にてアンケート結果の回収・集計を実施

分析・評価：アンケート結果をもとに、取締役会にて取締役会の実効性についての分析と評価を行うとともに今後の課題について議論

2. 分析評価結果の概要

当社取締役会は、アンケートの分析結果及びそれに関する取締役会での審議に基づき、以下の点について、当社の取締役会はその役割期待を適切に果たし、取締役会の実効性が十分に確保できているものと分析・評価しております。

- (1)取締役会では、議長は必要に応じて参加者に発言を促し、形式的ではなく自由闊達で建設的な議論や意見交換がなされていること
- (2)取締役会の開催頻度・審議項目数は適切であり、審議に必要な時間は十分に確保されていること
- (3)取締役会の構成において、社内取締役と独立した社外取締役の人数比は適切であること

一方で、今後改善すべき点として以下の点が挙げられました。

- (1)後継者計画についての議論の必要性
- (2)株主(投資家)との対話をより深める体制強化
- (3)取締役・監査役の意見交換の場のさらなる充実

3. 今後の対応について

今回の分析評価結果は、2022年3月期の取締役会の運営課題として対応していくと同時に、中長期的な課題について引続き取締役会で議論していくことと致しました。また、当社取締役会は、取締役会の更なる機能向上を図るべく今後も継続的に取締役会の実効性評価を行っていく予定です。

以上